

令和6年度「行きたい学校づくり」推進事業 探究学習推進 連携校計画書報告書
 【沼駿地区】（拠点校：県立沼津西高等学校）

<令和6年度 拠点校総括>

本計画のねらい	成果報告
<ul style="list-style-type: none"> • 探究的な学習手法の沼駿地区全校での実践による主体的に学ぶ力の育成 • 探究に係る地域資源の有効活用 • 探究学習によって地域貢献できる人材を育成し、地域活性化に寄与 • 大学入試（総合型選抜等）への対応 	<ul style="list-style-type: none"> • 沼駿地区全校で、それぞれで工夫を凝らした計画に取り組み、探究的な学習手法による主体的に学ぶ力の育成を実践できた。 • 多くの学校で講師を招き講演等を行い学習の支援となっている。 • 成果の発表会等で外部の方々を招き、地域の課題解決に貢献できるような取組を進めた。 • 職員向けの研修を行ったり、情報を共有したりするなどの対応を進めた。

<令和6年度 連携校実施計画（報告）>

学校名	取組（計画）	成果（報告）
御殿場	<p>これまで学んできた保育の知識・技術を生かして、園児向け劇を制作する。脚本、道具制作、演者すべてを生徒が行うことで、思考錯誤しながら探究のプロセスに沿った深い学びに繋げる。完成後は近隣保育園や卒業製作発表会において地域の方に披露する。</p>	<p>日本演劇教育連盟の方を講師にお呼びし、脚本の作り方や演じ方などを指導していただいた。脚本を分かりやすく作り直したり、セリフの言い方や身振りを工夫したりと生徒が成長する姿が見られた。近隣保育園での披露も好評であった。令和7年2月15日（土）に行われる卒業製作発表会では、地域の方にも披露する予定である。</p>
御殿場南	<p>「英語が好きになる探究体験！高校生日帰り English camp（イングリッシュ・キャンプ）in 御殿場」の開催。中北駿地区の高校生を対象として、英語への興味・関心を高める1日体験型のプログラムを企画及び運営する。午前は吉本興業の芸人による英会話講座、昼はランチ交流会、午後</p>	<p>令和6年12月21日（土）に御殿場高原時之栖にて、イングリッシュ・キャンプを開催した。当日は高校生・中学生合わせて18名が参加した。午前は、講師として吉本興業の芸人田畑祐一氏を招聘し英会話セミナーを開催した。午後は、時之栖ホテルスタッフ協力の下、ホテル施設を利用</p>

	はオールイングリッシュ交流会を予定している。	した英会話体験を行った。参加者の感想からも、英会話の楽しさや英語を学ぶ大切さへの気づきが多く見られ、「推進事業での企画で、本校の魅力が伝わり、英語が好きになる」という実施の目的が概ね達成できたと考えられる。
小山	グループごとに SDGs における 17 の目標をもとにテーマを設定し、持続可能な開発目標が現在の社会の中でいかに重要であるか、また未来に生きる人々にとってどれ程必要なことであるか自ら考え、また観客にも伝わるような演劇（30分～40分程度）を行う。	今年度1・2年生の「総合的な探究の時間」は年間プログラムとして SDGs に関連した演劇制作を行い、2月に全体発表を実施した。今年度がこのプログラムの初年度であり、今年度の取組を校内で検証し、来年度以降の外部公開発表につなげていきたい。
裾野	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生対象に、総合的な探究の時間にコーディネーターをお願いするとともに「20年後の仕事と生活」と題して、講義等を実施する。 ・企業等の外部団体等を招いて、総合的な探究の学習発表会を実施する。（各学年代表者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月27日（金）3年次を対象に「20年後の職業と生活の変化」と題し、日本総合研究所の講師による講話を実施した。 ・3月11日（火）探究成果発表会を開催する。企業等の外部団体を招いて、各学年の代表がパワーポイント等を使用して発表する。（1年次 SHIZUOKACUP、2年次しずおか高校生探究フェスタにおいても発表した。）
沼津東	揺籃（総合的な探究の時間）の生徒支援のための教職員のスキルアップのため、ワークショップを開催する。他校の教職員の参加も可とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・11/15 ベネッセ教育総合研究所主席研究員に「探究学習のその先へ～自分の進路実現と社会課題の解決～」と題して講演をいただき、探究学習へのかかわり方等を学ぶ職員研修とした。生徒への声掛けに悩んでいる教員にタイムリーな内容だった。満足度85%。 ・1年生のポスター発表の印刷用インクを購入し、中間発表・探究発表会に役立てた。
沼津城北	様々な団体や組織と連携している探究推進校を訪問・視察し、発表会に参加して、自校の取組に活用する。探究学習における地域と連携や充実に向けて講師やアドバイザーを招き研修会を実施する。	10月7日（月）1年生職業人インタビュー学年発表会で「しずおか共育ネット」の井上美千子氏を講師に迎え、発表の講評と効果的なプレゼンテーションの方法のアドバイスを頂いた。1月27日（月）2年生グループ探究のグループ

		ワークで「しずおか共育ネット」の小田圭介氏、渡邊靖乃氏、竹山順一氏をアドバイザーに迎え、リサーチクエストの伴走指導をして頂いた。また、教員の指導力向上のため駿河総合高校の「協働探究ラウンドテーブル静岡2024」、駿河総合高校の「令和6年度学年成果発表会」に参加した。
沼津工業	<p>【沼津の伝統文化継承に関する学び】</p> <p>課題研究において、沼津の伝統工芸である沼津垣の製作研究について、外部講師の指導を受けながら学びを深めるとともに、木材加工の技術力向上と郷土愛を育む。</p>	<p>沼津垣の製作について外部講師から指導を受け、沼津垣の歴史文化を知る事ができた。</p> <p>製作は高い技術力が必要で、直接指導を受けることによって改めて技術伝承の大切さを学んだ。竹を編める状態に揃えるまでの大変さも、生徒自らが竹の加工を行なうことで知る事ができた。</p>
沼津商業	1年次の総合的な探究の時間及び2、3年次の課題研究において、地域課題を探究する活動等に取り組み、産業界及び地域社会を担う有為な人材の育成を目指す。	<p>1年次の探究成果発表会を、1月31日（金）に実施した。</p> <p>2、3年次の課題研究へつなぐ礎とすることができた。</p> <p>3年次の課題研究成果発表会を、1月24日（金）に実施した。地域課題の解決に向けた提言等、充実した内容の発表が数多くあり、目標を達成することができた。</p>

<記載について>

- ・連携校1校につき1行使用する。
- ・予算を執行した取組について記載する。
- ・拠点校総括欄（成果報告欄）には連携校の予算執行を通して、地区全体としてどのような効果があったかに留意し、記載する。